

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹色キラリ

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	■ はい	■ いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	7	100%	0%
	2 職員の配置数は適切であるか	7	0	7	100%	0%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	7	100%	0%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	7	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	7	100%	0%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	7	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	7	100%	0%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	7	100%	0%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	7	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	7	100%	0%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	7	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	7	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	7	100%	0%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	7	100%	0%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	7	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	7	100%	0%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	7	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	7	100%	0%
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	0	7	100%	0%
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	7	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	7	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	0	3	100%	0%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	0	2	100%	0%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	5	100%	0%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	7	100%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	0	7	100%	0%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	0	7	100%	0%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	7	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	0	7	100%	0%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	7	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	7	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	7	100%	0%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	7	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	7	100%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	7	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	7	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	7	100%	0%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	7	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	7	100%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	7	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	7	100%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	7	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	7	100%	0%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹色キラリ

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	指導ルーム、学習室と分かれていて十分な広さが確保されている。	学習室の天井部が空いているので学習室が静かにならない。指導ルームにおいては学習室の蛍光灯の明かりが気になる。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置上適切である。	子どもの来所時間が重なると職員の配置が少なく感じる時がありますが個別での対応も行っていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	床は全面バリアフリーになっています。玄関、トイレはスロープ、また、トイレには手すりが設置してあります。	規定のバリアフリーにはなっていますが、手すりなどが必要になった時に直ぐに検討をしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日、ミーティングを行い、日々の業務改善につなげている。	支援の内容を全職員が把握して同じ対応が出来るようにしていくことが課題。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者からの評価を受け意向を把握してよい環境や支援が提供できるよう工夫している。	意見を踏まえ職員間で考えていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページに公表されている。	保護者の方への周知が薄いことが課題です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者からの評価を受け、ホームページに公表はしている。	業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	定期的に社内での研修を行って参加をしている。外部の研修は職員間で交代をして参加するようにしている。	研修の内容を職員間で周知し資質向上に努めるようにしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者との相談を定期的に行ったり、急な相談を受けたりして常に子供のニーズを職員間で共有しサービス計画の作成に当たっている。	アセスメントの内容を職員間で共有し児の支援を共通して行っていくよう努める。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールを使用している。	アセスメントツールを使用して子どもの状況を把握するよう努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	全員で立案している。	職員間でPDCAのサイクルに沿って立案をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	活動内容を協議して内容を変化させるなど子どもの状況に応じている。	活動の題名が同じなので内容の改善がしていないように思われている。日々PDCAのサイクルで内容を工夫していることを周知してもらいたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日の短い時間の活動と長時間の活動のプログラムを立案している。	長期休暇や土曜日の時間に出来ることを細やかに設定して利用者の意見も取り入れ調整を図っていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	状況に合わせて個別、集団を組み合わせで行っている。	個別と集団を組み合わせで行っている。状況の変化に合わせて丁寧に把握していくことをしていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日、その日に行う活動の担当者の確認や内容の確認を行って来所するお子さんの情報を共有している。	来所をする前の様子も把握し、状況に合わせて支援することに努めていく。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日、その日にあったことを記録し、次回の朝礼時に振り返りを行い情報の共有を行っている。	その日の振り返りを行い、今後も続け次の日のステップアップにつなげていきます。	

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録は利用者さんの変化、行動等の気付き、支援した時の子ども様子を記入し次につなげている。	職員間で子どもたちの行動を周知し次に繋がるよう記録し事実を客観的に記入する。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的にモニタリングを行って、計画の見直しや子どもの必要な事を判断している。	今後も定期的にモニタリングを行い子どもの成長や変化を見極め支援計画を立てていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	ガイドラインに基づいて活動内容に組み合わせている。	ガイドラインに沿っているかの確認を取りながら今後も支援を行っていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	サービス担当者会を行う機会が少ないが行う際には児童発達支援管理者又は管理者が出席している。	情報の共有を職員間で行っていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校の情報を共有したり事業所内での子ども様子を共有している。トラブルがあった時には連絡を取って対応している。	情報の共有を職員間でも共有して行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現時点では医療的ケアが必要なお子さんはいない。	今後必要があるときは連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	今年度は就学と同時に利用するお子さんがいましたが、児童発達と連携に挑みましたが、児童発達は終了したので情報は提供できないと回答を頂きました。	就学時前の情報を確実に情報共有させて頂けるよう今後も児童発達支援センターに理解を求めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	今まで移行のお子さんがないため行っていません。	今後あった時には保護者の意向を得てから情報共有を行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修の機会を頂いています。	相互での相談を行っており電話連絡を通して当時御者内での様子を見ていただいたときの助言等を通して連携を図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	児童館や地域にある学校の行事に参加しています。	放課後児童クラブとの交流はありませんが児童館の活動や高校の行事に参加が出来る所へ参加をさせていただいています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	対象の方がいる時は参加しています。	今後も対象の方が見えれば参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳を介したり送迎時に相談を受けることがあるので職員で共有している。	今後も子どもが安心して過ごすことが出来るよう共通の理解を図っていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアトレーニングの機会は設けてある。	周知して頂いてなく参加者が少ない。今後は沢山の保護者さんに参加していただけるよう促していきます。	
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に重要説明書の方で説明を行っている。	今後も契約時に説明を行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談をされて職員間で共有し、必要とされることを話し合いをし保護者さんに伝えている。	利用時だけでなく家庭内での関わり方などの相談も伺って保護者さんの気持ちに寄り添っていきけるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	親子参加が出来る行事に参加していただいたときに交流を行って頂いています。	保護者さんが活躍されている会のリーフレットを事業所に掲示している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	速やかに情報を提供し解決策を考え相談支援、学校にも情報を共有していただき適切に対応を行っている。	トラブルの内容、改善と説明させていただきよう速やかに対応が出来るように努めている。

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
説明責任等	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月、請求書類と一緒に会報誌、行事予定表を同封して送付させていただいています。	ホームページに毎日の活動を記載してあります。保護者さんに周知していただくようつなげていきます。
	35 個人情報に十分注意しているか	個人情報の管理は管理者が責任をもって鍵付きの書庫に入れて厳重に保管してあります。	個人情報には十分注意をしています。個人情報は鍵のかかる書庫に保管し個人がわかる不要な書類はシュレッダーにかけています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要があれば市の方と連絡を取り通訳をお願いしたり、筆談をしたり相手の方がわかる方法で伝えています。	子どもによっては構造化が必要な時があります。具体例を示しながら情報伝達を行えるようにしています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	夏祭りをを行い地域住民の方に周知して頂いています。	コロナの影響で行事が中止になっています。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルは作成してある。職員はいつでも確認はできる。	保護者に対しての周知は薄いので今後周知していただくことが課題。。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	毎月定期的に避難場所の確認を行い年二回、消防署の避難訓練を行っています。	活動の中で定期的に避難訓練を取り入れています。避難経路の確認は毎月行っています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待研修を全社員が受講して虐待をしない適切な対応を行っている。	虐待防止研修を外部講師を招いて継続的に行っています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	会社の方針で身体拘束は行っていない。	基本行いませんが、切迫時には行動制限をさせていただくことがあるかもしれません。その時は状況を記録し保護者に十分な説明をさせていただきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	アセスメントシートにて記入していただいています。疑いのあるお子さんに関しては検査を勧め検査の結果表もいただいています。	今後、利用児で指示書があるお子さんがいるときは職員全員で対応出来るように心がけていきます。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットは施設内で行っています。大きな事例に関しては全職員で共有しています。	職員間でいつでも閲覧出来るようにしてあります。ヒヤリハットが起きた時の状況を分析し職員間で話し合い今後につなげていっています。